



セミナー

滋賀SDGs×イノベーションハブ(愛称:しがハブ)のアドバイザーであるNPO法人ミラツク代表理事西村勇哉様をコーディネーターにお迎えし、2回連続参加型ワークショップを行います。第1回目では講義とワークショップ、第2回目はフィールドワークを主体とした未来社会に向けた新たな視点と情報の獲得等によって、自社のSDGs取り組みについて検討します。

第1回目ワークショップ

1. 日 時: 2019年6月10日(月) 13:00-17:00 (12:40~受付)
2. 会 場: 神戸アイセンター(神戸市中央区港島南町2丁目1番地) ※現地集合となります。
www.kobeeyecenter.jp/ ポートライナー「医療センター」駅より徒歩2分
(「神戸空港行き」または「京コンピュータ前止まり」にご乗車ください。)
3. プログラム
13:00-15:00 講義(理化学研究所 網膜再生医療研究開発プロジェクト 小出 直史研究員)
「先端テクノロジーと未来デザインへのロードマップ」
15:00-17:00 ディスカッション、ワークショップ
未来予測データを元に、今後社会に訪れる2050年までのロードマップを検討します。
自社のアセットや事業領域との関連、展開可能性についてグループで考えます。

第2回目ワークショップ

1. 日 時: 2019年7月10日(水) 13:00-17:00 (12:40~受付)
2. 会 場: ワコールスタディホール京都(京都市南区西九条北ノ内町6 ワコール新京都ビル)
<https://www.wacoal.jp/studyhall/> 京都駅八条口から徒歩7分 ※現地集合となります。
3. プログラム
13:00-15:00 フィールドワーク
京都市内数か所へグループごとに現地視察、実践者へのインタビューを行います。
15:00-17:00 フィールドワークまとめ、ディスカッション
第1回目のワークショップで検討したロードマップを完成させます。



- ◎ コーディネーター: NPO 法人ミラツク 代表理事 西村勇哉 様
- ◎ 対 象: 社会的課題の解決につながるビジネスの取り組みをお考えの滋賀県内企業で
できる限り2回のワークショップに参加可能な企業
- ◎ 定員・参加費: 30名(2019年6月3日(月)締切)・参加費無料(会場までの交通費等は自己負担)
- ◎ 申 込 方 法: 裏面記入にて FAX もしくは同内容をメール(表題は【しがハブセミナー610 申込】)ください。
- ◎ 問 い 合 わ せ: しがハブ(滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階)

TEL: 077-526-7433 MAIL: info@s-sdgs-ih.jp 担当: 國友、堅田

西村勇哉 様 プロフィール



1981 年大阪府池田市生まれ。大阪大学大学院にて人間科学(Human Science)の修士を取得。人材開発ベンチャー企業、公益財団法人日本生産性本部を経て、2008 年より開始したダイアログ BAR の活動を前身に、2011 年に NPO 法人ミラツクを設立。

未来構想・コンセプトの設計を共に生み出す未来社会デザインのアプローチを用いた未来起点による大手企業の新規事業開発の支援や未来潮流の探索に取り組む。

国立研究開発法人理化学研究所未来戦略室イノベーションデザイナー、関西大学総合情報学部 特任准教授

小出直史 様 プロフィール



学位:医学博士 2009-2012年 日本学術振興会特別研究員、2012年名古屋大学大学院医学系研究科博士課程修了。2012年 理化学研究所システムバイオロジー研究開発プロジェクト開発型テクニカルスタッフを経て、2013年10月より網膜再生医療研究開発プロジェクト研究員、2015年よりプロジェクトマネージャーを兼務、現在に至る。専門は発生工学、細胞生物学。現在はプロジェクトマネージャーとして、再生医療の実現・標準化に向けて基礎科学と事業化を繋ぐ橋渡し研究の推進に取り組んでいる。



SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)では、「誰一人として取り残さない、持続可能な社会の実現」を目指しています。2015年9月の国連サミットにて、世界が抱える問題を17のゴールと169のターゲットに整理し、2030年に向けての目標として設定されました。

Fax → 077-526-7434



Mail → info@s-sdgs-ih.jp

項 目	
企業名	
参加者 職氏名	役職 氏名
連絡先 (TEL、FAX)	TEL FAX
参加者メールアドレス	
自社の主な事業内容	
連続講座に期待すること	